

◎第二十四回シニア講座

今年初めてのシニア講座は、NPO よしかわ子育てネットの中島さんを講師に迎えて、「ココロもカラダも健康に愉しく生きる」でした。

子供から教えてもらったこと、母親との葛藤、父親から教えてもらったことなどから、ココロとカラダの健康を体感覚でつかんできた話を紹介。参加者の多くが実際に自分の体験と照らして共感できる部分が多かったようで、うなずきながら聞いている方が多くいました。また、父親の話の時には、そっと涙を拭く人も見受けられました。

中島さんの素晴らしい話術もあり、またご自分の実体験に基づいた話でしたので、参加者は色々感じるものがあったようでした。



◎ シニア講座の皆勤賞

昨年(2025年)1月から12月までの一年間、一度も休みなしで受講してくれた浅水さんに、感謝の気持ちを込めた記念品を差し上げました。



浅水さんは、シニア講座開始当初から、熱心に受講していただいております。また二度講師もお願いしています。これからも、お元気に参加して欲しい

です。

◎第二十五回シニア講座

二月のシニア講座のテーマは「宙ボーイの活動と星空の魅力」です。児童館で定期的にかかれる観望会で、星空観察の案内をしたり、イベントな

どで活動を紹介したりしている飯田さんを講師に招いて開きました。子供の頃に星に興味を持ち、その後の学生時代には素晴らしい先生と出会ってから感化されたり、宙ボーイの誕生経緯を紹介してくれました。

会場には実物の大型天体望遠鏡や、それで撮影した星の写真なども展示され、また宙ボーイの衣裳をまとった講師が軽妙な話を展開してくれました。最後に、今年見ることができる天体ショーの紹介もあり、星空に思いをはせることができた、楽しい講座になりました。



◎総会

シニア2丁目の規定に従って、年度末の総会を開きました。特に大きな議題はなかったのですが、以下のことが議論されて決まりました。

- 1) シニア講座が少し低調になってきたので、もっと宣伝を工夫する必要があります。市報などに広告を出したり、団地やマンションなどに集中してポスティングを行うことにしました。
- 2) シニア講座に要する経費は受講料で賄えるようになってきましたので、会員の年会費はしばらく徴収しないこととなりました。

◎第二十六回シニア講座

3月のシニア講座は、ひまわり俳句会の西崎さんを講師に招いて、「みんなで俳句を楽しむ会」になりました。俳句の簡単な作り方を説明した後に、参加者に季節を感じる俳句を作ってもらい、それらを句会メンバーで選句してもらいました。選ばれた句について、講師や選者がコメントを述べて

もらい、その後に作者にその情景を説明してもらいました。落ち着いた句会になりました。

選ばれた句のいくつかを紹介します。

「夜嵐が残せし桜の水溜まり」

「梅咲いた竹馬の友が便りくれ」

「卒園の孫に娘が重なりて」

「ひなあられ大粒探し孫笑う」

「春風にさそわれひ孫オッー立っち」

参加者からは、「楽しい時間だった」との、嬉しい声も寄せられております。



◎賛助会員から一言

「平和を願う」 (加藤勝義)

アメリカとイスラエルによるイラン攻撃により、世界も日本も大変なことになっています。国会前や全国で、若い人も多数参加し、抗議行動が広がっていますね。日本は、憲法9条を持つ国として、「戦争やめよ」の声を突きつけていくべきと思います。戦争のない日本と世界を。

今の情勢を憂う一人の国民として。



◎会員の部屋

「趣味について」 (須藤春美)

ここ2年前から始めた趣味があります。それは

「城スタンプ」集めです。以前から昔の建物めぐりが好きで、あちこち巡ってはいたのですが、一昨年に行った松山城でスタンプ帳を手に入れてから俄然城めぐりが楽しみになりました。城を巡ることで何が楽しいかというと、城の成り立ちや形状を知るのはもちろんですが、城のある街の成り立ちや文化にも触れられることです。ゆっくり納得のいくまで見て歩きたいのでおのずと一人旅をするようになりました。

この近辺でお気に入りの城を一つ上げると千葉県佐倉市にある佐倉城跡です。行かれたことがある方もいらっしゃるかもしれませんが、ここは国立歴史民俗博物館のある場所です。城の建物は残っていないのですが、近くに武家屋敷が保存されていて、そこから城に抜ける当時の登城する道が残っています。武家屋敷を見て、その坂道を通り城に向かって歩いていると、同じ道を武士が通っていたことを想像して、ノスタルジックな気分を味わうことが出来ます。



城めぐりに欠かせないのは丈夫な足です。城はたいがい坂や山の上であり、天守閣の中の階段はととても急です。この趣味を続けるためにもいつまでも歩き続けることが出来るように、足腰を普段から鍛えていきたいと思っています。

「今どきの若者」 (浅野英世)

ミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、日本勢が大活躍しました。獲得したメダル数も過去最高になったそうです。それを見ていて、最近の若者は凄いなと感嘆するばかりです。オリンピックだけでなく、サッカー、野球、卓球など色々なスポーツで、日本代表の世界の場での活躍が目立ちます。なぜ彼らはこれほど強くなったのか？

昔は、国際大会は国威発揚の場であり、国の威



信をかけて戦う場でした。周囲がそう期待するし、選手たちもそれを強く意識して戦っていました。ですから、どこか変に力が入って、根性だけで戦っていた気がします。しかし、最近では「自分を表現する場」としています。勿

論日の丸を背負って戦っている意識はありますが、競技後に出るコメントは家族やコーチなどそれまでに支えてくれた人たちへの感謝です。

また、競技で戦ったライバルたちに対しては、互いに称え合いリスペクトを表す姿が多くみられました。勝敗を争うよりも互いに切磋琢磨しているように見えます。

若い世代の意識が大きく変わってきています。グローバル化は経済や政治の世界では種々の課題を露呈してきていますが、スポーツ界では国境を低くするという効果が出ているようです。これまでの枠組みを超えて、各国の競技者との交流が盛んになり、互いに影響し合うようになっています。つまり国境を越えた尊敬、技術の共有、メンタルサポートなどが彼らを強くしているようです。

○会員情報

正会員【8名】：渡辺次雄（副代表）、須藤春美（会計）、浅野英世（代表）、松田隆司、渡辺雅子、鈴木幸夫、長谷川肇、勝木公雄

賛助会員【1社、7名】

団体・法人：(有)木工房シン（関）

個人：井橋定生（茨城）、加藤勝義（東京）、佐藤克也（茨城）、高口恵子（熊本）、仲間昇（栃木）、浅野美智代（美南）、前野美幸（美南）

シニア二丁目事務局（浅野）

☎ 080 3691 0576

✉ senior2chome@gmail.com

URL <https://newyoshikawa.com>



（2026年3月31日）